

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 リサイクルまつり
-------------------	-----------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	2	廃棄物の有効利用
主要な施策	1	リサイクルの普及啓発とその実践強化
事務事業番号	002	事務事業コード 21221002 事業開始年度 平成 1 3 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	リサイクルまつり開催経費
------	------	------------	--------------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室 環境対策 G
-----	-------	-------	--------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民及び白老町民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) フリーマーケットや各種リサイクルの現況展示及びリサイクル品展示、リサイクル工作、生ごみ堆肥化製品配布、ごみ処理施設見学などを組み合わせたイベントを開催する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) ごみの減量やリサイクルへの意識向上に資する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	来場者数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	2,000	/	/	/	/
	フリーマーケット出店数	店	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	54	59	59	59	59	177
合 計				54	59	59	59	59	177
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	2,115	2,216			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		2,115	2,216			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について

今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である	→	妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？	白老町や消費者協会、環境関係団体と連携 し、市民や町民を対象に実施しており、市が実 施することが妥当である。
		妥当ではない			

2. 事務事業の成果について

成果はあがって いますか？	→	成果があがっている	→	成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？	屋外でのイベントであることから天候による 影響が大きい、フリーマーケットの出店希望 や当日の来場者が多い。
		どちらかといえばあ がっている			
		成果があがらない			

3. 事務事業の成果向上について

成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる	→	どのよう にして 向上させま すか？ 向上させるこ とができない理 由は何ですか？	継続実施することによりごみの減量やリサイ クルへの意識向上を図ることができる。
		少し向上させるこ とができる			
		向上させることはで きない			

4. 事務事業の経済性・効率性について

成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる	→	どのよう な方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？	予算規模も既に縮小されていて、共催団体も 負担増となっていて、これ以上の削減は難し い。
		削減できない			

担当グループによる評価

維 持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	まつりを通じて、ごみの減量化やリサイクル意識の向上を促し、循環型社会のPRに 努める必要性から、今後も行っていくことが妥当である。
------------	----------------------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）